



～年末年始のごあいさつ～

今年は三月にラオス30日間の旅、八月に屋久島二週間の旅、十一月に10年ぶりの第二子出産。ピアノライブ出演(Ragtime, 天空など)盛りだくさんの一年でした。「こころ」も「からだ」も「精神」も「情感」も、そして「知的満足度」もすべてが向上中。豊かな時間と精神的充足を毎日、一分、一分、一秒、一秒、味わって、感じています。

さて、CO2による温暖化説は「つくり話！」だったのか～CO2排出権取引で儲けたいからアル・ゴアを操って「不都合な真実」を制作したIPCCのパチャウリ議長。(ノーベル平和賞を受賞(笑))詳しくは広瀬隆が著した「二酸化炭素温暖化説の崩壊」集英社新書(2010/7/16)をどうぞ。信頼できる古書のデータを使って実証しています。

ハイブリッド車はエコ？ニッケル水素電池のリサイクルには当然電気が必要でしょ。携帯電話のリチウムイオン電池にはコバルトが含有。コバルトの産出国はコンゴ。コンゴと言えば、愛すべきバンド「ベンダ・ビリリ！」またコンゴと言えばゴリラ絶滅の危機。こういった希少金属(レアメタル)が世界中の紛争の原因の一端を担っている。

それから太陽光発電はエコ？パネルを製作する際の電気は計算した？パネルの寿命は？太陽光発電パネルに使われる希少金属はあとどのくらい採掘可能なのか。「太陽光」でなく「太陽熱」はいいかも。世界最大の太陽熱発電所、米カリフォルニア州に。約4800億円。原発と比べても建設費は変わらない。その上、燃料費はタダ、廃棄物はなし。また、地熱発電はすでに実用化。小規模なら「マイクロ水力発電」バッテリーはキャパシタ。

そうそう「オール電化」は夜間にダブっている原発の電気を国民に使わせるために考案されたものなので論外。オール電化はエコじゃない。「終焉に向かう原子力」(第10回)京都大学小出裕章)プルサーマルはもっとこわい。

もう、あらゆる動植物に迷惑をかけないことが大切。たとえヒトを傷つけないように気をつけていたとしても、実はあるヒトは傷ついていた、なんてそんなこと、よくあるんですから。それくらいみんなナイーブで精妙な「こころ」と「からだ」をもっているんです。(ふじかわ おさむ)

「エンデの遺言～根源からお金を問うこと」(単行本)(2000/02)(以下抜粋)環境問題・貧困・戦争、精神の荒廃には、お金の問題が潜んでいる。例えばパン屋でパンを買う購入代金としてのお金と株式取引所で扱われる資本としてのお金は、二つの全く異なった種類のお金。このようにお金にはいくつかの異なった機能が与えられ、それが矛盾して問題を起こしているのです。(抜粋はここまで)



10年10ヶ月ぶりに待望の第二子「翔平」の誕生。多くの方々に祝福していただき、この子はとっても幸せ者です。予定日がきても産まれる気配がなく、祐也といっしょにたくさんたくさん歩きました。そして..予定日を八日過ぎた11月14日、やっと出てきてくれました。今回も Big baby.(苦笑)ようこそ、この地球へ！ようこそ我が家へ！スヤスヤ眠るキミのそばで横になる幸せ..これは夢じゃないよね、と何度も問いかけてしまう。もう何もいらぬ。仕事もしたくない！？(そりゃマズイ)この幸せな時間をしっかり味わって2011年は育児中心、家事と仕事はそこそこにしてがんばり過ぎないよう、ゆるりと暮らしていきたいです。

産後一ヶ月は休養が必要なので夫が家事(主に料理)をしてくれました。おいしいシンプル料理のおかげで母乳もバッチリ。週末は祐也も家事に加わり、食事づくり、掃除、食器洗いもしてくれました。もちろんごはんは、精米→洗う→土鍋で炊く、です。さすがお兄ちゃん！家族の連携プレーのおかげでしっかり休養がとれました。ラオスではつわりのピーク。ガタガタ道を長時間移動したときは泣きそうになりました。おいしそうなのがあっても食べられず、フルーツとスティッキーライス(炭火で蒸したもち米)、さつまいも、お米のスイーツばかり食べてたっけ。(笑)(ふじかわ なおこ)



2010. 12. 5 藤川 修・直子・祐也・翔平(ふじかわ おさむ なおこ ゆうや(十歳)しょうへい(0歳)
641-0033 和歌山市松ヶ丘 1-6-39 tel. & fax. 073-460-1555 http://twitter.com/fujikawa_osamu

—琉春庵— ♪ <http://homepage3.nifty.com/badi/>

We do not inherit the earth from our ancestors, we borrow it from our children.